

2025年度 **新旧** 課程入試

# 完全対応!



2025年度入試より、新課程に基づいて大学入試が実施されることが決まっていますが、高卒生など旧課程履修者を対象に経過措置が行われます。河合塾カリキュラムでは、高卒生が有利になり得る学びを提供します。2025年度入試で「変わる点」と「変わらない点」を確認しながら、2025年度入試に完全対応したカリキュラムをご紹介します。

## ● 新旧課程のおもな変更点と24年度河合塾カリキュラム

————— 高卒生への影響が「ある」「ない」という観点から抜粋して紹介していきます!

教科	おもな変更点と入試への影響	共通テスト経過措置	河合塾カリキュラム
英語	学ぶ単語数が最大700語増。 【共通テスト・二次・私大入試】 大きな変更はないと予想される。	—	これまで通り4技能を適切なバランスで高められるカリキュラムを提供。
数学	数学B、数学C、数学Ⅲの科目構成変更。 【共通テスト】 数学②の出題範囲拡大(数学C追加) 試験時間:60分→70分 【二次・私大入試】 初年度は旧課程生への配慮が見込まれ、一部の大学を除き影響はない。	 新旧課程の問題を同一冊子に掲載	新旧両課程に対応。
国語	【共通テスト】 「近代以降の文章」に大問1つ追加 試験時間:80分→90分 ※追加問題は配点が低いことが予想される。 【二次・私大入試】 大きな変化なし。	—	共通テスト対策において、追加された大問の対策も行う。
理科	履修内容に変更なし。 ※一部用語に変更あり。	 旧課程履修者が選択解答可能な問題を出題する可能性がある	一部新課程に対応。
地歴 公民	計6科目へ再編。 【共通テスト】 経過措置があるため影響なし。 【二次・私大入試】 大きな変更はないと予想される。	 旧課程履修者向け科目の選択可(出願時に申請)	旧課程の学習カリキュラムを提供。
情報	【共通テスト】 新規設置。国立大では、原則「情報」を含む6教科8科目が課される方針。 【二次・私大入試】 国公立大での出題はごくわずか。 ※他教科との選択が主。	 新旧課程の問題を同一冊子に掲載	旧課程の「情報」での共通テスト対策を提供。

**POINT**  
これまでの移行期間においては、新課程の入試問題の方が易しい。よって、受験生が入試会場の問題を見てどちらを解答するか選択できるようにすることが有利になると考える。

**POINT**  
化学「化学反応と熱」分野を中心に新課程対応。  
※考え方に変化あり  
生物・地学など、一部用語変更されるものは、テキストで併記。

**POINT**  
「情報の科学」・「社会と情報」のどちらにも対応できるカリキュラム。  
→詳細は裏面でCHECK!

※英語・数学・国語・理科・地歴公民のカリキュラムは、入学案内2024 P18～P22 でご確認ください。

## ● 共通テスト「情報」と河合塾カリキュラム

本校では、旧課程の情報である「情報の科学」と「社会と情報」、それぞれの履修者向けの共通テスト対応カリキュラムをご用意!長年入試問題を分析し、全統模試を主催する河合塾だからこそ実現できる2025年度入試完全対応カリキュラムです。

教科	おもな変更点と入試への影響	試験時間(配点)
情報	「旧情報」・「情報Ⅰ」(※新課程履修者向け) ※「旧情報」では、「社会と情報」及び「情報の科学」いずれを履修しても不利益の生じないよう、共通部分対応の必答問題とそれぞれに対応した選択問題が出題される	60分 (100点)

河合塾カリキュラム 講義やテストゼミ(テスト+講義)を通して、情報の知識を整理したり、関連付けを行ったりしながら活用のバリエーションを増やすことで、共通テスト本番での対応力を高めることをめざします。扱う問題はすべて市販されていない河合塾オリジナル教材を使用します。

基礎シリーズ(1学期)	講義形式	完成シリーズ(2学期)	テスト+ゼミ(解説)形式	直前シリーズ(3学期)	テスト+ゼミ(解説)形式
重要なポイントを押さえてから、問題演習とその解説講義を通して、共通テストで知識や「問題解決」がどのように問われるのかを確認します。		試行問題やサンプル問題等を分析し作成したテストに取り組み、すぐに解説で確認を行うことで、応用力を鍛えます。		実際の出題形式にあわせた予想問題(60分)に取り組み、解説を聞くことで、得点に結びつける実戦力を鍛えます。	

## ● 参考:国公立大における共通テスト「情報」の設定状況と配点比率 (2023年10月時点)

国立大では、ほぼ「情報」必須。一方、公立大では対応が分かれる。

また、点数化する大学においても、配点比率を素点より小さく設定する大学が多く見られる。



北海道大学や香川大学のように、受験必須としながらも得点化はせず、成績同点者の合否決定時に共通テスト「情報」の成績を活用するなど、「情報」の影響を最小限にとどめる大学も見られる。私立大では「必須」は3%程度にとどまる(2023年8月時点)。



## 再チャレンジするあなたへ

本校では、「目指す未来がある。目指す大学がある。」というコピーを使っています。この言葉には、皆さんの目指す未来のために大学4年間という貴重な時間を、「どこかの大学」ではなく、「目指す大学」で充実感をもって過ごしてほしいという願いを込めています。

教育課程が変わり、再チャレンジすることに不安を感じている人もいます。本校では、長年入試を分析し受験業界を牽引してきた河合塾のカリキュラムを提供します。また、本校は入試の転換期を迎えたときも含め、毎年多くの受験生を「目指す大学」への合格に向けサポートしてきた実績があります。

大学4年間、そしてそのあとの長い将来のために、この一年を、本校で共に、頑張ってみませんか。我々は大志ある再受験生を全力でサポートします。

金沢駅西予備校・富山予備校一同

